

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大砂土小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> ・国語「主語と述語の関係を理解すること」、算数「割合の概念」に関する領域で課題がみられる。 <指導上の課題> ・「書く」学習において、伝える内容が明確になるように、観点や視点を示し、文章を推敲し合う必要がある。また、デジタルコンテンツ等を活用した反復練習での習熟を図っていく必要がある。	⇒ 「ドリルパーク」や「スタディサプリ」等のデジタルコンテンツを活用した授業改善を推進する。授業以外にも、週1回、朝のGIGAタイムや個別の学習履歴を活用しながら、個に応じた指導の充実を図る。また、学習内容の定着を把握し、児童自身が「何を学んだのか」のデータを蓄積するために、スクールタッシュボードの振り返り機能等の活用を図る。【通年・国語、算数の各単元につき1時間】
思考・判断・表現	<学習上の課題> ・国語「自分の考えが伝わるように表現することができるか」に関する領域で課題がみられる。 <指導上の課題> ・目的意識や相手意識をもたせ、話す際に必要な材料と関連付けながら表現できるように指導する必要がある。	⇒ GIGA端末を授業内で効果的に活用し、話し合いを可視化したり、他者の考えに触れたりすることで、互いの考えを深めることができるようにし、思考力や判断力を育成する。また、高学年においては、教科担任制による専門性を高めた指導力を教師に身に付けさせ、指導方法の改善に取り組み、協働的な学びを取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。【通年・国語、算数の各単元につき1時間】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)